

平成22年12月3日三省合同審議会

既存化学物質審査物質  
(人健康影響・生態影響)  
に係る分解性・蓄積性データ



検索 > [化審法化学物質検索](#) > [化審法化学物質検索結果](#) > [化審法関連情報](#)

## 化審法情報 [データの説明](#)

各表中の「分類」欄において「特定できず」と記載されているものは、それぞれの法律の対象物質に該当していない場合、又は、法律では「〇〇化合物」のように包括的な名称で指定されていることから対象物質であるか否かを特定できない場合に表示されます。

分類	既存	官報公示整理番号	3-36
既存名簿 官報公示名称	α又はβプロムスチレン		

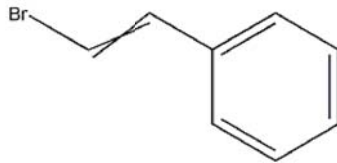
(注意) 当データベースでは官報公示名称(既存化学物質)は、既存名簿の1類から5類及び9類の一部の物質の官報公示名称に対してのみCAS番号を付与しています。それ以外の既存化学物質、白物質にはCAS番号を付与していないため、「分類」欄において「特定できず」と表示されます。

## 既存化学物質安全性点検データ (分解性・濃縮性) [データの説明](#) [分解性](#) [濃縮性](#)

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
β-プロモスチレン	昭和56年12月25日	濃縮性がない又は低いと判断される物質

## 物質情報

### 構造式



CAS番号	103-64-0
点検対象物質名称	β-プロモスチレン

官報公示整理番号	官報公示名称
3-36	α又はβプロムスチレン

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
揮発	4 週間	100 ppm	30 ppm

間接測定	BOD	直接測定	GC
	0%		4%

報告書等 [報告書](#) (116KB)

## 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値 ( 48 hr)	魚種
5.05 ppm	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量 (%)
標準	8 週間	コイ	4.6

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	0.1 ppm	34~143
第2濃度区	0.01 ppm	53~235

報告書等 [濃縮度試験報告書](#) (140KB)

## 人健康影響試験結果 [データの説明](#)

### 詳細情報

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではありません。ご注意ください。

該当データがありません

## 生態影響試験結果 [データの説明](#)

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではありません。ご注意ください。

該当データがありません



検索 > [化審法化学物質検索](#) > [化審法化学物質検索結果](#) > [化審法関連情報](#)

## 化審法情報 [データの説明](#)

各表中の「分類」欄において「特定できず」と記載されているものは、それぞれの法律の対象物質に該当していない場合、又は、法律では「○○化合物」のように包括的な名称で指定されていることから対象物質であるか否かを特定できない場合に表示されます。

分類	既存	官報公示整理番号	3-91
既存名簿 官報公示名称	モノ又はジクロロベンジルクロライド		

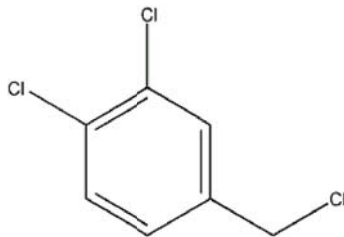
(注意) 当データベースでは官報公示名称(既存化学物質)は、既存名簿の1類から5類及び9類の一部の物質の官報公示名称に対してのみCAS番号を付与しています。それ以外の既存化学物質、白物質にはCAS番号を付与していないため、「分類」欄において「特定できず」と表示されます。

## 既存化学物質安全性点検データ (分解性・濃縮性) [データの説明](#) [分解性](#)

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
3, 4-ジクロロベンジルクロライド	昭和61年12月27日	蓄積性がない又は低いと判断される化学物質

## 物質情報

### 構造式



CAS番号	102-47-6
点検対象物質名称	3, 4-ジクロロベンジルクロライド
官報公示整理番号	官報公示名称
3-91	モノ又はジクロロベンジルクロライド

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
揮発	4 週間	100 ppm	30 ppm

間接 測定	BOD	直接 測定	TOC	GC
	0%		0%	90%

報告書等 [報告書](#) (454KB)

### 備考

・被験物質は水中で加水分解し、3, 4-ジクロロベンジルアルコール及び3, 4-ジクロロ安息香酸 (3-1410) を生成した。

## 人健康影響試験結果 [データの説明](#)

### 詳細情報

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではありません。ご注意ください。

該当データがありません

## 生態影響試験結果 [データの説明](#)

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではありません。ご注意ください。

該当データがありません



検索 > [化審法化学物質検索](#) > [化審法化学物質検索結果](#) > [化審法関連情報](#)

## 化審法情報 [データの説明](#)

各表中の「分類」欄において「特定できず」と記載されているものは、それぞれの法律の対象物質に該当していない場合、又は、法律では「〇〇化合物」のように包括的な名称で指定されていることから対象物質であるか否かを特定できない場合に表示されます。

分類	既存	官報公示整理番号	4-644
既存名簿 官報公示名称	アセナフチレン		

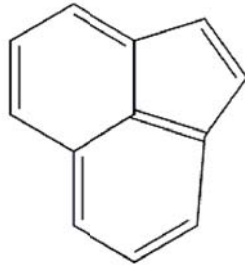
(注意) 当データベースでは官報公示名称(既存化学物質)は、既存名簿の1類から5類及び9類の一部の物質の官報公示名称に対してのみCAS番号を付与しています。それ以外の既存化学物質、白物質にはCAS番号を付与していないため、「分類」欄において「特定できず」と表示されます。

## 既存化学物質安全性点検データ (分解性・濃縮性) [データの説明](#) [分解性](#) [濃縮性](#)

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
アセナフチレン	平成2年12月28日	蓄積性がない又は低いと判断される化学物質

## 物質情報

### 構造式



CAS番号	208-96-8
点検対象物質名称	アセナフチレン

官報公示整理番号	官報公示名称
4-644	アセナフチレン

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4 週間	100 ppm	30 ppm

間接 測定	BOD	直接 測定	GC
	0%		3%

報告書等 [報告書](#) (397KB)

## 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値 ( 48 hr)	魚種
185 mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量 (%)
標準	8 週間	コイ	3.8

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	50 µg/L	237~505
第2濃度区	5 µg/L	225~545

報告書等 [濃縮度試験報告書](#) (374KB)

## 人健康影響試験結果 [データの説明](#)

### 詳細情報

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではありません。ご注意ください。

該当データがありません

## 生態影響試験結果 [データの説明](#)

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではありません。ご注意ください。

該当データがありません



検索 > [化審法化学物質検索](#) > [化審法化学物質検索結果](#) > [化審法関連情報](#)

## 化審法情報 [データの説明](#)

各表中の「分類」欄において「特定できず」と記載されているものは、それぞれの法律の対象物質に該当していない場合、又は、法律では「〇〇化合物」のように包括的な名称で指定されていることから対象物質であるか否かを特定できない場合に表示されます。

分類	既存	官報公示整理番号	5-2275
既存名簿 官報公示名称	アゾイック C C 5		

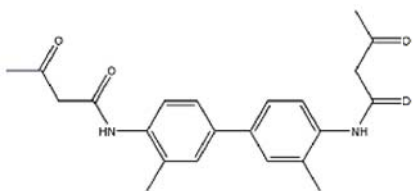
(注意) 当データベースでは官報公示名称(既存化学物質)は、既存名簿の1類から5類及び9類の一部の物質の官報公示名称に対してのみCAS番号を付与しています。それ以外の既存化学物質、白物質にはCAS番号を付与していないため、「分類」欄において「特定できず」と表示されます。

## 既存化学物質安全性点検データ (分解性・濃縮性) [データの説明](#) [分解性](#) [濃縮性](#)

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
3, 3'-ジメチル-N, N'-ビス(3-オキソブチリル)ベンジジン	昭和57年12月28日	濃縮性がない又は低いと判断される化学物質

## 物質情報

### 構造式



CAS番号	91-96-3
点検対象物質名称	アゾイック C C 5
官報公示整理番号	官報公示名称
5-2275	アゾイック C C 5

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2 週間	100 ppm	30 ppm

間接測定	BOD	直接測定	HPLC
	0%		0%

報告書等 [報告書](#) (99KB)

## 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値 ( 48 hr)	魚種
>500 ppm	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量 (%)
標準	6 週間	コイ	4.3

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	1.0 ppm	<0.2
第2濃度区	0.1 ppm	<1.6

報告書等 [濃縮度試験報告書](#) (129KB)

## 人健康影響試験結果 [データの説明](#)

### 詳細情報

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではないことにご留意ください。

該当データがありません

## 生態影響試験結果 [データの説明](#)

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではないことにご留意ください。

該当データがありません



検索 > [化審法化学物質検索](#) > [化審法化学物質検索結果](#) > [化審法関連情報](#)

### 化審法情報 [データの説明](#)

各表中の「分類」欄において「特定できず」と記載されているものは、それぞれの法律の対象物質に該当していない場合、又は、法律では「〇〇化合物」のように包括的な名称で指定されていることから対象物質であるか否かを特定できない場合に 표시됩니다。

分類	既存	官報公示整理番号	5-2111
既存名簿 官報公示名称	モルダント ブラックー7		

(注意) 当データベースでは官報公示名称(既存化学物質)は、既存名簿の1類から5類及び9類の一部の物質の官報公示名称に対してのみCAS番号を付与しています。それ以外の既存化学物質、白物質にはCAS番号を付与していないため、「分類」欄において「特定できず」と表示されます。

### 既存化学物質安全性点検データ (分解性・濃縮性) [データの説明](#) [分解性](#) [濃縮性](#)

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
5-クロロ-3-(1,5-ジヒドロキシ-2-ナフチルアゾ)-2-ヒドロキシベンゼンスルホン酸のナトリウム塩	昭和56年12月25日	濃縮性がない又は低いと判断される物質

### 物質情報

CAS番号	3618-60-8
点検対象物質名称	モルダントブラックー7

官報公示整理番号	官報公示名称
5-2111	モルダント ブラックー7

### 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	14 日間	100 ppm	30 ppm

間接測定	BOD	直接測定	UV-VIS
	0%		3%

報告書等 [報告書](#) (116KB)

#### 備考

- 被験物質は基礎培養液中のカルシウムイオンと反応して沈殿を生成した。

### 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値 ( 48 hr)	魚種
32 ppm	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量 (%)
標準	6 週間	コイ	2.6

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	0.4 ppm	<0.34~(0.96)
第2濃度区	0.04 ppm	<3.3~(4.3)

報告書等 [濃縮度試験報告書](#) (136KB)

### 人健康影響試験結果 [データの説明](#)

#### 詳細情報

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではありません。ご注意ください。

該当データがありません

### 生態影響試験結果 [データの説明](#)

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではありません。ご注意ください。

該当データがありません



検索 > [化審法化学物質検索](#) > [化審法化学物質検索結果](#) > [化審法関連情報](#)

## 化審法情報 [データの説明](#)

各表中の「分類」欄において「特定できず」と記載されているものは、それぞれの法律の対象物質に該当していない場合、又は、法律では「〇〇化合物」のように包括的な名称で指定されていることから対象物質であるか否かを特定できない場合に表示されます。

分類	既存/指定(2監)	官報公示整理番号	2-224
既存名簿 官報公示名称	t-アルキル(C4~8)ヒドロペルオキシド		
指定化学物質 通し番号	384	官報公示日	2000/09/22
指定 化学物質名称	tert-ブチル=ヒドロペルオキシド		

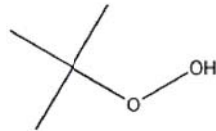
(注意) 当データベースでは官報公示名称(既存化学物質)は、既存名簿の1類から5類及び9類の一部の物質の官報公示名称に対してのみCAS番号を付与しています。それ以外の既存化学物質、白物質にはCAS番号を付与していないため、「分類」欄において「特定できず」と表示されます。

## 既存化学物質安全性点検データ (分解性・濃縮性) [データの説明](#) [分解性](#) [濃縮性](#)

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
tert-ブチル=ヒドロペルオキシド [官報公示整理番号: 2-224]	平成12年3月17日	高濃縮性ではないと判断される物質

## 物質情報

### 構造式



CAS番号	75-91-2
点検対象物質名称	tert-ブチルヒドロペルオキシド

官報公示整理番号	官報公示名称
2-224	t-アルキル(C4~8)ヒドロペルオキシド

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100 mg/L	30 mg/L

間接 測定	BOD	直接 測定	TOC	GC
	0%		0%	3%

報告書等 [報告書](#) (337KB)

## 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48 hr)	魚種
220 mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量 (%)
標準	6週間	コイ	3.9

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	1 mg/L	0.9~1.8
第2濃度区	0.1 mg/L	<8.0

### 備考

・被験物質は魚体中でtert-ブタノールに変化したため、供試魚分析はtert-ブタノールで定量し、被験物質に換算した。

報告書等 [濃縮度試験報告書](#) (414KB)

## 人健康影響試験結果 [データの説明](#)

### 詳細情報

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではありません。

該当データがありません



検索 > [化審法化学物質検索](#) > [化審法化学物質検索結果](#) > [化審法関連情報](#)

### 化審法情報 [データの説明](#)

各表中の「分類」欄において「特定できず」と記載されているものは、それぞれの法律の対象物質に該当していない場合、又は、法律では「〇〇化合物」のように包括的な名称で指定されていることから対象物質であるか否かを特定できない場合に表示されます。

分類	既存	官報公示整理番号	4-19
既存名簿 官報公示名称	フェニルフェノール		

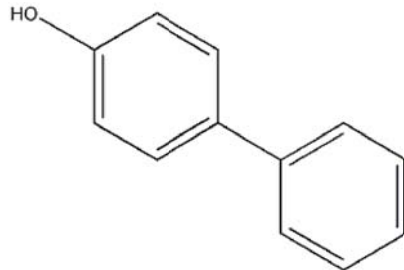
(注意) 当データベースでは官報公示名称(既存化学物質)は、既存名簿の1類から5類及び9類の一部の物質の官報公示名称に対してのみCAS番号を付与しています。それ以外の既存化学物質、白物質にはCAS番号を付与していないため、「分類」欄において「特定できず」と表示されます。

### 既存化学物質安全性点検データ (分解性・濃縮性) [データの説明](#) [分解性](#) [濃縮性](#)

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
4-フェニルフェノール	昭和61年12月27日	蓄積性がない又は低いと判断される化学物質

### 物質情報

構造式



CAS番号	92-69-3
点検対象物質名称	p-フェニルフェノール

官報公示整理番号	官報公示名称
4-19	フェニルフェノール

### 分解性

判定	難分解性
試験方法	逆転法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4 週間	30 ppm	100 ppm

間接測定	BOD	直接測定	TOC	HPLC
	0%		3%	15%

報告書等 [報告書](#) (471KB)

### 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値 ( 48 hr)	魚種
4.27 mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量 (%)
標準	6 週間	コイ	4

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	20 µg/L	39~57
第2濃度区	2 µg/L	30~48

報告書等 [濃縮度試験報告書](#) (510KB)

### 人健康影響試験結果 [データの説明](#)

#### 詳細情報

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではありません。ご注意ください。

該当データがありません

### 生態影響試験結果 [データの説明](#)

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではありません。ご注意ください。

該当データがありません



整理番号 K-12011D (3-0078)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
3-4-ジクロトルエン (95-75-0)	事業対象年度 平成18年度 試験期間 19. 1.17~19. 5.17 試験装置 Closed bottle	事業対象年度 平成 年度 試験期間 . . . ~ . . . 試験装置 標・揮	契約 年月日 試験期間 . . . ~ . . . 試験装置 標・揮
構造式 (示性式)・物理化学的性状	試験濃度 被験物質 4.17 mg/L 汚泥 50 μL/L 本試験期間 4 週間 間接 BOD 0, 0 (0)% 試験結果 直接 GC -3.1 (1)%	試験濃度 被験物質 mg/L 汚泥 mg/L 本試験期間 週間 間接 試験結果 直接	試験濃度 被験物質 mg/L 汚泥 mg/L 本試験期間 週間 間接 試験結果 直接
分子式 C <sub>7</sub> H <sub>7</sub> Cl <sub>2</sub> 分子量 161.03 純度 99.9%以上 (GO) <sup>※1</sup> 95%以上 (GO) <sup>※2</sup> 不純物 (物質名, 含有率) 外観 無色透明液体 溶解度 (対水, その他) 対水 36mg/L <sup>※3</sup>	審査部会 第68回 19年10月26日開催 判定 難分解性	審査部会 第 回 年月日開催 判定	審査部会 第 回 年月日開催 判定
融点 沸点 205℃ 密度 LD50 チャートの有無 (有)・無 用途 生産量 (年)	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 103% 2.表施機関 株式会社 三菱化学安全科学研究所	備考	備考
試料 東京化成工業株式会社 経済産業省発表年月日 月 日			

\*1 分解度試験サンプル, \*2 濃縮度試験サンプル, \*3 株式会社三菱化学安全科学研究所測定値

濃縮度試験 試験期間 19.12.17 ~ 20. 3. 18 試験装置 標・揮 LC50値 2.8mg/L (96h)/魚種(ヒメダカ) 水槽設定濃度 (μg/L)	濃縮度試験 試験期間 . . . ~ . . . 試験装置 標・揮 LC50 値 mg/L ( hr) 魚種 ( )	部位別試験 (濃縮倍率) 第1濃縮区 817 外皮 938 頭部 2700 内臓 607 可食部 第2濃縮区 1150 外皮 1040 頭部 2770 内臓 777 可食部 排泄試験 (半減期) 第1濃縮区 0.7日 第2濃縮区 0.9日	毒性試験 年月日 経過
第1濃縮区 20 25000 第2濃縮区 2 25000 第3濃縮区	第1濃縮区 第2濃縮区 第3濃縮区		
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 6.1% 魚種(コイ) 終了後 6.6%	濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 魚種( ) 終了後 %		
水槽濃度 (μg/L) 第1 19.0 18.8 18.8 18.6 18.6 倍率 1230 1270 1160 1080 1060 水槽濃度 (0μg/L) 第1 1200 1040 1140 1100 944 第2 1.99 1.88 1.84 1.84 1.85 倍率 765 985 653 826 1010 795 1210 1070 737 941 水槽濃度 ( ) 第3 倍率	水槽濃度 ( ) 第1 倍率 水槽濃度 ( ) 第2 倍率 水槽濃度 ( ) 第3 倍率		
審査部会 第77回 20年7月25日開催 判定結果 高濃縮性でない	審査部会 第 回 年 月 日 開催 判定結果		
備考 [定常態における濃縮倍率] 第1濃縮区 1100倍 第2濃縮区 866倍 [回収率] [定常下限濃度] 試験水 100% 試験水 第1濃縮区 1 μg/L (美健世サ) 第2濃縮区 0.1 μg/L 供試魚 88.7% 供試魚 47 ng/g [実施機関] 株式会社三菱化学安全科学研究所	備考		



検索 > [化審法化学物質検索](#) > [化審法化学物質検索結果](#) > [化審法関連情報](#)

## 化審法情報 [データの説明](#)

各表中の「分類」欄において「特定できず」と記載されているものは、それぞれの法律の対象物質に該当していない場合、又は、法律では「〇〇化合物」のように包括的な名称で指定されていることから対象物質であるか否かを特定できない場合に表示されます。

分類	既存	官報公示整理番号	3-1232
既存名簿 官報公示名称	ベンザルアセトン		

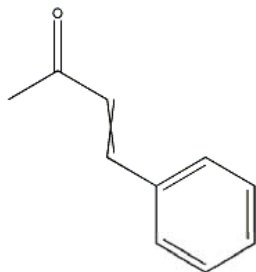
(注意) 当データベースでは官報公示名称(既存化学物質)は、既存名簿の1類から5類及び9類の一部の物質の官報公示名称に対してのみCAS番号を付与しています。それ以外の既存化学物質、白物質にはCAS番号を付与していないため、「分類」欄において「特定できず」と表示されます。

## 既存化学物質安全性点検データ (分解性・濃縮性) [データの説明](#) [分解性](#) [濃縮性](#)

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
ベンザルアセトン [官報公示整理番号： 3-1232 ]	平成6年12月28日	高濃縮性ではないと判断される物質

## 物質情報

### 構造式



CAS番号	122-57-6
点検対象物質名称	メチルスチリルケトン
官報公示整理番号	官報公示名称
3-1232	ベンザルアセトン

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2 週間	100 ppm	30 ppm

間接 測定	BOD	直接 測定	TOC	GC
	4%		* (-) %	1%

報告書等 [報告書\(105KB\)](#)

### 備考

\*分解度が負の値になったため (-) と表記した。

## 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLM値 ( 48 hr)	魚種
9.80 mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量 (%)
標準	6 週間	コイ	3.5

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	100 µg/L	<1.7
第2濃度区	10 µg/L	<18

報告書等 [濃縮度試験報告書\(446KB\)](#)

## 人健康影響試験結果 [データの説明](#)

### 詳細情報

試験結果は試験実施機関の判断を示しており、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に係る審議会等において判定したものではないことにご留意ください。

該当データがありません

## 生態影響試験結果 [データの説明](#)

整理番号 K-1201C (3-0078)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2-5-ジクロロトルエン (19398-61-9)	事業対象年度 平成18年度	事業対象年度 平成 年度	契約 年月日
	試験期間 19. 1.17~19. 5.17	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
構造式 (示性式)・物理化学的性状	試験装置 Closed bottle	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
<chem>Cc1ccc(Cl)cc1Cl</chem> 分子式 C <sub>7</sub> H <sub>6</sub> Cl <sub>2</sub> 分子量 161.03	試験濃度 4.17 mg/L	試験濃度	試験濃度
	汚泥 50 μL/L	被験物質 汚泥 mg/L	被験物質 汚泥 mg/L
純度 98.5% <sup>*1</sup> (GC) <sup>*2</sup>	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
不純物 (物質名, 含有率) 2,4-ジクロロトルエン: 9.9% <sup>*1</sup> 2,6-ジクロロトルエン: 2.5% <sup>*1</sup> 2,3-ジクロロトルエン: 1.2% <sup>*1</sup>	間接試験結果 接	間接試験結果 接	間接試験結果 接
融点 4~5°C <sup>*1</sup>	BOD 0, 0 (0)%	GC -2, -5 (0)%	試験結果 接
沸点 197~200°C <sup>*1</sup> 199°C <sup>*2</sup>	審査部会 第68回	審査部会 第 回	審査部会 第 回
密度	19年10月26日開催	年月日開催	年月日開催
LD50	判定 難分解性	判定 備考	判定 備考
チャートの有無 (有・無)	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 103% (汚泥+被験物質)系 99% 2.実施機関 株式会社 三菱化学安全科学研究所		
用途			
生産量 (年)			
試料 和光純薬工業株式会社 <sup>*1</sup> 東京化成工業株式会社 <sup>*2</sup>			
経済産業公報発表年月日 月 日			

\*1 分解度試験サンプル, \*2 濃縮度試験サンプル, \*3 株式会社三菱化学安全科学研究所測定値

濃縮度試験	濃縮度試験	濃縮度試験 (濃縮倍率)	毒性試験
試験期間 19.12. 7 ~ 20. 3.13	試験期間 . . . ~ . . .	部位別試験 (濃縮倍率) 第1濃縮区 760 頭部 1150 内臓 2370 可食部 703 第2濃縮区 751 外皮 1180 頭部 2830 内臓 819 可食部	年月日 経過
試験装置 標・揮 LC50値 2.7 mg/L (96hr)魚種(ヒメダカ)	試験装置 標・揮 LC50 値 mg/L ( hr)魚種		
水槽設定濃度 (μg/L)	水槽設定濃度 ( )		
被験物質	被験物質		
分散剤	分散剤		
第1濃縮区 20 25000	第1濃縮区		
第2濃縮区 2 25000	第2濃縮区		
第3濃縮区	第3濃縮区		
濃縮倍率	濃縮倍率		
脂質含有率終了後 5.6% 魚種(コイ)	脂質含有率 終了後 % 魚種( )		
7日後 13日後 28日後 32日後 39日後	日後 日後 日後 日後 日後		
水槽濃度 (μg/L)	水槽濃度 ( )		
第1倍率 19.3 19.2 19.6 19.7 19.6	第1倍率		
第1倍率 1330 1050 1210 1310 1220	第1倍率		
第1倍率 1140 988 1200 1130 1070	第1倍率		
水槽濃度 (μg/L)	水槽濃度 ( )		
第2倍率 1.94 1.91 1.93 1.94 1.93	第2倍率		
第2倍率 1150 1090 1330 1220 1070	第2倍率		
第2倍率 829 1270 1040 1180 1160	第2倍率		
水槽濃度 ( )	水槽濃度 ( )		
第3倍率	第3倍率		
第3倍率	第3倍率		
審査部会 第77回 20年7月25日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催		
判定結果 高濃縮性でない	判定結果		
備考	備考		
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃縮区 1190倍 第2濃縮区 1160倍			
[回収率] 100% (実施せず)	[定常下限濃度] 試験水 第1濃縮区 1 μg/L 第2濃縮区 0.1 μg/L		
供試魚 91.3% 供試魚 38 ng/g			
[実施機関] 株式会社三菱化学安全科学研究所			